



# へきけんニュース

2009年4月20日発行 第42号



〒085-8580 釧路市城山1丁目15番55号

TEL:0154-44-3291 FAX:0154-44-3292

E-mail [hekiken@kus.hokkyodai.ac.jp](mailto:hekiken@kus.hokkyodai.ac.jp)

<http://hekiken.kus.hokkyodai.ac.jp/>

## ☆ 平成21年度「へき地教育研究計画」の募集 ☆

へき地教育研究支援部門の事業費による「へき地教育研究計画」を、以下のように募集します。

### ① 研究計画の申請

\* 研究課題は、次の3つの領域に属するものとします。

- ・ へき地・小規模校教育に関する基礎的・理論的研究
- ・ へき地・小規模校教育に関する実践研究（実践報告を含む）
- ・ へき地・小規模校教育にかかわる地域研究

\* 計画書の請求は、へき研事務室（釧路校 内線 54-291 担当 武藤）までお問い合わせください。なお、研究計画書の様式は、当部門のホームページでも掲載しております。

\* 計画書には、研究目的・内容を具体的に記入してください。

また、「へき地・小規模校教育の発展に資する本研究の意義」を明記してください。

\* 経費の項目は、「備品・消耗品・旅費・その他」です。

\* 申請額の上限は、20万円の予定です。

\* 計画書（1部）は、5月15日（金）までに、へき研事務室に提出してください。

### ② 研究計画の採否

\* 予算示達を受けて、7月上旬を目処に決定します。

### ③ 研究成果の提出

\* 研究成果は、次年度の紀要『へき地教育研究』第65号に投稿することになります。

原稿の締め切りは、平成22年5月末です。

## ☆ 研究紀要『へき地教育研究』第64号の投稿締め切り ☆

(1) 平成20年度に採択された研究計画の成果の投稿締め切りは、平成21年5月末です。

『へき地教育研究』執筆要項（ホームページ参照）に基づいて、紀要原稿提出用紙を添付の上、へき研事務室に提出してください。

なお、紀要原稿提出用紙に関しましては、へき研事務室へお問い合わせください。

(2) 研究費の配分を受けていない方からの投稿も歓迎します。詳細は、へき研事務室にお問い合わせください。

## ☆ 研究紀要『へき地教育研究』第 63 号の発刊について ☆

『へき地教育研究』第 63 号を刊行いたしました。本誌は全教員には配布しておりませんので、ご希望の方はへき地教育研究支援部門事務室までご連絡ください。  
なお、本誌は当部門のホームページでもご覧いただけます。

### へき地教育研究 第 63 号 2008

#### < 論 文 >

教育学部学生のへき地教育に対する情緒的意味の分析

— へき地教育体験の及ぼす影響 —

山崎 正吉

へき地・小規模校の 1 日訪問による学生の意識と端緒的教育効果

川前あゆみ

[転載]

複式教育の算数科授業創りにおける「算数・数学的活動の視点に立った授業理解の枠組み」の活用

平岡 賢治・宮内 (吉田) 香織

学習教材「サケのライフサイクル／サバイバル・ゲーム」の開発

高嶋 幸男・奥山 洵

双方向通信システムを活用したへき地学校への教育相談の実践

松浦 俊彦・吉野 隆宏

地域再生を主眼とした地域立脚型教育活動の具体的推進策についての検討

— 交通問題を題材とした高校生による自主的な一般科目活用への支援 —

武田 泉・齊藤 基雄

複式学級の意義および授業指導法 — ADEA のモジュールから —

大津 和子

現代中国の農村教育改革に関する一考察

— 1987-2000 年の「農村教育総合改革」を中心として —

柯 勁松

学校・地域教育研究支援センター へき地教育研究支援部門 活動状況

旧「へき地教育研究センター」再編について

北海道教育大学学校・地域教育研究支援センター規則

平成 20 年度「へき地校体験実習」実習協力校一覧

平成 20 年度 特色ある大学教育支援プログラム (特色 GP) 「へき地教育フォーラム in 十勝」

『へき地教育研究』編集発行要領

執筆者紹介